

椈の湖農業小学校だより

No.133

どんびま

2010年8月11日発行

発行者 椈の湖農業小学校



地歌舞伎そろい踏み

8月1日、去年は椈の湖で40年ぶりに復活したフォークジャンボリーだった。

今年は東美濃ふれあいセンター歌舞伎ホールで市内5団体の歌舞伎保存会が出演する地歌舞伎そろい踏みがあった。中津川市合併5周年の記念行事として開催されたものだ。

岐阜県の東部は全国でも3本の指に数えられる地歌舞伎の密集地である。中でも、恵那地方には集中している。この地方で地歌舞伎が栄えたのは、中山道の中間点という地の利もあったであろうが、第一には恵那人の気質によるものが大きいと思っている。恵那の地形は小さな谷が入り組んだ傾斜地で、大きな水争いの歴史が無く人間関係が丸いのだ。様々な人々の協力が必要な演劇活動には向いていると云える。

江戸時代、歌舞音曲を禁じられた庶民は例外であった神様への奉納芸能という名目で、神社の境内に舞台を作って歌舞伎を演じてきた。明治時代になると地歌舞伎は益々盛んになって、20年代には客席付きの芝居小屋が各地区に建てられた。現在もそのいくつかが残っている。今春、東濃の地歌舞伎と芝居小屋が「岐阜の宝物」に認定され、観光も視野に入れた文化資源として評価を上げた。

地域の伝統文化を守ることは農村、百姓の大事な仕事と心得ている。

(草)

8月授業日(椈の湖キャンプ)のご案内

日程①8月21日(土)

- 8:30~ 9:00 受付 ☆時間に間に合うように、早めにお出かけください。
- 9:00~ 9:15 始めの会
- 9:15~11:00 授業 農作業(白菜の種まき かぼちゃの収穫 草取りほか)
(早く終わったら)カブトムシ運動会第2ラウンド
弁当作り、トマトジュース作り ハム作り 夕食下ごしらえなど
- 11:00~11:30 川上川へ移動(川遊び希望の家族のみ)
- 11:30~14:00 昼食(おにぎり弁当)
(自由参加)川遊び 鱒つかみ
- 14:00~14:30 椈の湖キャンプ場へ移動
- 14:30~16:30 キャンプ場チェックイン 宿泊準備 テント設営
- 16:30~ 広場に全員集合。夜店(夕食)の準備 (椈の湖オートキャンプ場広場)
- 17:00~ 夜店開店
- 18:30 キャンプファイヤー カブトムシ運動会表彰式 影絵劇
~21:00 グループ出し物(歌 クイズ 魚釣り 宝探し 肝だめし)
- 21:00~22:00 風呂(有料 大人400円 小人200円)

日程②8月22日(日)

- 6:00 起床
- 6:30~ 8:00 朝食準備 朝食 夜店と食事の後片付け
- 8:00~11:00 農小に移動(ウッディハウスは荷物を搬出し、チェックアウトすること)
(自由参加)もの作り 染め物
木工 ペン立て 虫かご…など自由課題
布草履(ぬのぞうり)
竹細工 水鉄砲 箆 花器…など
紙すき
(希望者に)Tシャツのシルクスクリーン「たがやしひとなる」印刷
※案山子のまだ出来上がってない家族は仕上げてください。

11:00~12:00 後かたづけ 案山子コンクール投票 案山子立て

12:00~12:30 昼食(流しそうめん)

12:30~12:40 終わりの会

★もの作りの終わってない方は作業を続行していただいてもかまいませんが、後かたづけは責任をもってキッチンとお願いします。

★キャンプサイトのチェックアウトは13:00(時間厳守)でお願いします。

☆「川遊び」は自由参加です。それぞれの親さんの責任でもって参加してください。

☆「もの作り」も自由参加です。もちろん、何もしないでポーッとしているのもO.K.

☆Tシャツのシルクスクリーン印刷は特製の「農小Tシャツ」を作ります。

希望する人は、それぞれのサイズの白または色の薄い物を持参してください。新品のものは一度洗濯をして糊を落としてくることをお忘れなく。

【持ち物と注意事項】

《もの作り》

- ・ 染物希望の方（先着 50 名）
 エプロン ゴム手袋 はさみ ハンガー
 染めたい物（綿の T シャツ、ハンカチなど ★一度洗って糊を落としてくること）
 - ・ 木工・竹細工希望の方
 大工道具 ナイフ(切出し、肥後の守などの小刀を。カッターナイフは×危険です。)
 - ・ 布草履希望の方
 布（4 cm×2mを20本くらい ハサミで切った色物・柄物だと出来上がりがカラフルで綺麗）
 - ・ 紙すき希望の方
 タオル=2~3枚・さらし又は日本手ぬぐい=1枚・新聞紙2日分・アイロン
 ※牛乳パックは資料の②の水を絞ったものを持参して下さい。押し花などあれば最高
- ★材料準備のため、もの作りの希望コースは必ずご記入ください。ただし、希望が集中した場合は先着優先で変更していただくことがありますので、ご了承ください。
各自の材料の準備、道具、持ち物を忘れないで下さい。

《キャンプ》

- ・ 食器（バーベキュー用皿・コップ・スプーン・箸・水筒など）
- ・ 寝具（シュラフ・タオルケットなど）*貸し毛布あり（200円）要予約
- ・ イス・テーブルセットがあると快適・便利
- ・ 懐中電灯・ペンライト（肝試しはペンライトでないと入場できません）
- ・ その他キャンプに必要なもの
- ・ 夜店はグループごとに担当してもらいます。全員が交代でご協力ください。
 1グループ……フライドポテト・から揚げ
 2グループ……フルーツポンチ・冷奴・サラダ
 3グループ……鱈塩焼き・焼きおにぎり・焼き鳥
 4グループ……焼きソバ
 5グループ……フランクフルト・イカ焼き
 スタッフ…… 豚丸焼き、 生ビール(これだけ有料)

参加費 大人・生徒 3000円 幼児 1500円 （1日のみ参加の場合も同料金）

キャンプサイト料金（定員5名） 5025円

別途 貸テント料金 3500円～ *要予約

電源使用料 1000円

ウッディハウス使用料（1家族） 10000円

☆ウッディハウスは、申し込み多数の場合、1棟に2~4家族一緒に泊まっています。ただのことになります。そのつもりでお願いします。

貸しテント、貸し毛布の申し込みなどあったら、はがきに書いてください

◎ お問い合わせは TEL0573-75-4417 ケイ1090-5110-9362（山内）まで

◎ 返信締め切り **8月17日 厳守**

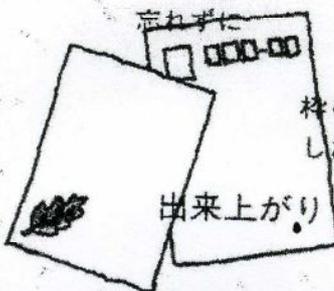
牛乳パックではがきを作ろう



爪を使ってポリエチレンをはがす

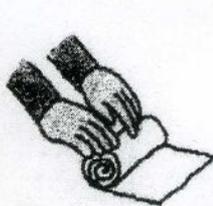


①パックを2昼夜
せっけんを溶い
たお湯に漬ける



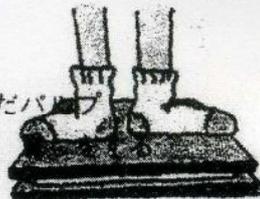
枠を変えれば名刺
しおりもできます

出来上がり



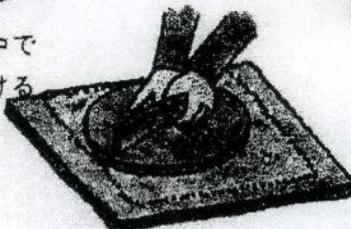
金網をはずし
さらしにはさんだパルプ
を重ね、一昼夜、

⑦さらしにはさんだまま
アイロンをかける



②パルプを水の中で
おろし金にかける

ザルにあけ、
固くしぼる。



⑥さらに金網の上から
タオルをかぶせ、水
抜きをする

1枚パック=50gのパルプ



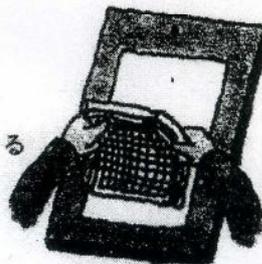
+



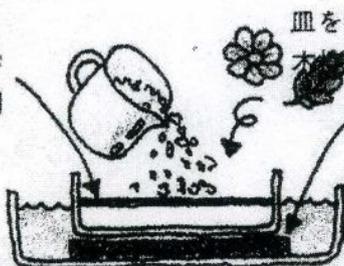
だんご状の
パルプ約10g + 水500cc 30秒~1分間

③はがき1枚分のパルプ溶液を作る

さらしの上のにせる



木枠
金網



皿を置いた上に
木枠をセットする
押し葉・花は
ここで入れる

④空気が入らないよう
平らに流し込む



⑤金網ごと
はずす

～とくちゃんの農小レポート～

「農小野菜入りカレーは美味しかったよ～」

梅雨明けと同時に、カンカン照りの日が何日も続き、年々最高温度を更新しています。夏野菜にとっては大変厳しい条件となっていますが、農小の野菜は元気に育っています。昼食のカレーには農小野菜がたっぷり使われていましたが、お味は如何でしたか？

- 1 午前の授業。 畑の作業はごぼうとサツマイモ畑の草取り。
そしてじゃがいもと人参の収穫をおこないました。
- 2 カブト虫運動会。 作業が早く終わったので午前中に、カブト虫運動会を行いました。今年のかぶと虫本来の習性を利用した木登り競争を行い、杭の頂上に早く到達した者が勝ち。24名参加によるトーナメント方式で競い、最後は三つ巴戦となりました。成績は、1位大宮慶久君・2位奥田翔太君・3位吉村颯真君でした。
尚7月に成虫に成らなかった人のために、8月にも運動会が行われますので是非参加して下さい。7月の参加者も出場可能です。
キャンプファイヤーの時に表彰が行われます。もちろん賞品もです。
- 3 昼食。
カレーライス、サラダ、キウリと昆布の和え物、椎茸の天ぷら、キウリの漬け物。
他の月には原則として伝統的郷土食を中心とした献立ですが、要望もあって7月はカレーとなっています。もちろん野菜は農小で採れた物を使います。
- 4 午後の授業。 8月のキャンプについての話し合いが行われました。特に生徒たちはキャンプファイヤーのグループ毎の「出し物」について、各Gごとに話し合いが行われましたが、肝試し希望のGが3組もありグループ長同志の話し合いで決まったようでした。
父兄の方たちは、当日の「夜店」の内容についての打ち合わせ、またキャンプ中の「遊び」の内容の確認、そして翌日の「物作り」について、係ごとに分れて話し合われました。
- 5 案山子作り。 毎年好評を博している農小田んぼの「かかし」作りに取り組みました。昨年は32体程の力作が田んぼの横に立てられ、多くのカメラマンの被写体となりました。今年も乞う力作。
- 6 持ち帰り野菜。 じゃがいも、にんじん、農小の野菜は美味しいので、じゃがバター、キャロットグラッセなどでご賞味を！

～とくちゃんのちょっと一言～

昔は農家の鳥獣防除の切なる願いから、案山子の役目が有りましたが、近年はイベント向きが主です。家族総出の力作を大いに期待します。

7月に休みだった家族、まだ出来上がっていない家族はキャンプ2日目の案山子コンクールの投票までに、時間を見つけて仕上げてください。

～あぼ兄の百姓ばなし～

「ハーメルンの笛吹き男」

あぼ兄の畑のとなりに、小中学生を対象にした教室がある。

その日は作業の都合で夕方になってしまい、こどもたちの授業に騒音を出して申し訳ないと思いながら畑を掘っていた。丁度、低学年と高学年の交代の時間になったか、小学生7・8人がじゃれ合っていた。その中で一番背の高い女の子が手を振るので、近所の知っている子かなあと思い近寄ってみると見知らぬ子で「この機械はコ・ン・バ・イ・ンですか？」と聞いてきた。子どもたちの間で何っていう機械か当てるために聞いた様子だった。「これはトラクターというんだ。コンバインは秋に稲を刈り取る機械だよ。」と教えてやると「ありがとう」とお礼を言ってくれた。あぼ兄も「よく聞いてくれてありがとう。」と礼を言ってしまった。

昔のあぼ兄たちの夏休みを思い出した。毎日家の農作業の手伝いをさせられた。その間の時間を惜しむように遊び、夕暮れになると疲れきって家に帰ったものだった。

そんな思い出にひたっていると、4・5台の自動車がやってきた。お母さんたちに迎えられる子どもたちが帰って行った。

夕闇のせまる家路に行く真っ黒に日焼けた子ども（あぼ兄）たちのシルエットと、自動車に乗り込む子どもたちの姿をダブらせたら、今西祐行先生が農業小学校の立ち上げを決意された時の光景が浮かび上がった。児童文学者の今西先生は絵本『農業小学校のうた』にこう書かれていた。

『水が低きに流れるように、若い人たちが都会に流れていく。食べていけないのだからその人たちをせめるわけにはいかないが、問われなければならないのは国の政治のありかただ。山里に子どもの声が聞こえなくなるのもあたりまえだ。日本中の山村を駆け回っていた子供たちを連れて行ってしまったハーメルンの笛吹き男は誰だろう。どこにいるのだろうか。たまには東京に出て夜遅くなる。地下鉄のホームには9時、10時だというのにランドセルを背負った小学生たちが仲間とふざけあっているのを見かける。塾の帰りなのだろう。そんな子どもを見ていると、こんどは私が笛吹き男になってあの子たちを一日でも山里に連れ戻したいような気がした。そこで農業小学校と書いたのが始まりだった。』

その翌日の朝日新聞「天声人語」にハーメルンの文字を見つけた。

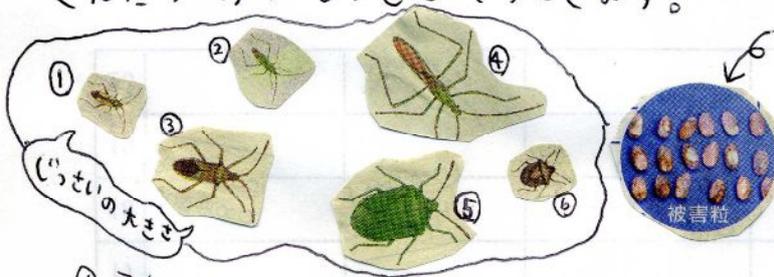
『ハーメルンの笛吹き男はグリム童話で知られる中世ドイツの伝説である。不思議な男の吹く笛に、大勢の子らが吸い寄せられるようについて行き、そのまま消えてしまった。実際に起きた話だという説もある。▼かつて野山で遊び回っていた子どもの姿が、笛に連れ去られたように消えてしまった。現代の笛は電波だという。魔法の波が子どもを誘惑し、室内に閉じ込めた。・・・』とあった。

放課後にも、夏休みになっても外で遊ぶ子をあまり見ない。体を動かさなくなった子どもの体力が心配だ。10代の体力は長寿に結びつく可能性が高いという研究結果もある。子どもの頃の遊びや運動は生命力に磨きをかけ、人を精神的にも強くする。

子どもたちに生きる力をつけるために2002年から始まった総合学習も学力低下の異論に押し切られてしまった。農小の役割をあらためて考える夏休みである。

～かなちゃんの虫日記～

バケツいねはすくすくそたっていますか？ はなのこの田んぼではもうすぐ花が咲きそですよ。 そうなると、カメムシのなかまたちももねなくやってきます。 イネの汁をすいに、まわりの草からとんだつり歩いたりしてやってきます。



おこめつぎの汁をすおれると黒くなって、見た目がわるくなるし、とれる量が入ることもありません。 でも、味や健康にはとくに問題はありません!!

① アカスジカスミカメ



② アカヒゲホソジツカスミカメ



←どろろと赤ときみだりの色でとってあどわか!

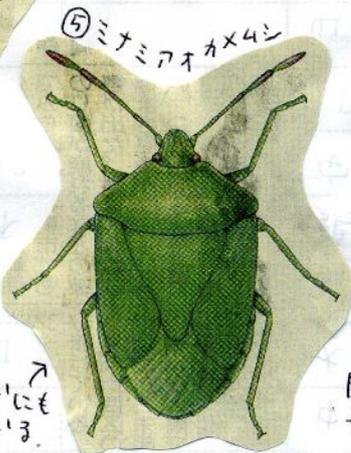
③ ホソハリカメムシ



④ ナメハリカメムシ



⑤ ミナミアオカメムシ



⑥ オオクシラホシカメムシ



カメムシは....

- ♡ 卵から生まれたときからカメムシの形。まるっこくて、目が大きくてかわいい!
- ♡ ストローのようなすう口の形。あしゃあしたべたりしません。
- ♡ においはおながわのまねにある穴からたたくしている。